

科目名[英文名]	技術マネジメント基礎論A [Fundamentals of Management of TechnologyA] …Q 1 技術マネジメント基礎論B [Fundamentals of Management of TechnologyB] …Q 2		
開講期 曜日・時限	Q 1 (4/6～6/5) Q 2 (6/12～8/7)	水曜日	5 限目(16:30-18:00)
コーディネータ	喜成 年泰	E-mail : kinari@se.kanazawa-u.ac.jp	
担当講師陣	[氏 名] 小畑 外嗣 坪岡 久乃 高田 彬 油木 弘玄 石黒 日菜 村田 智洋 松宮 俊隆 臼田 松男 鈴木 康夫 中園 徹	[所 属] 精密工学会名誉フェロー 北國銀行 北國銀行 北國銀行 北國銀行 北國銀行 日本政策金融公庫 国民生活事業本部 北陸創業支援センター所長 元金沢大学人間・機械工学科教授, 元新日本製鐵技術開発本部 株式会社 Bizits パートナーズ 代表取締役社長 ヤンマー株式会社中央研究所 シニアスペシャリスト	
キーワード	企業組織論, 財務会計, 企業経営, キャリアデザイン, 事業改革, テクノロジマネジメント		

◆授業の主題・目標

財務会計, 企業経営, 企業組織論, 研究開発マネジメントなど技術経営の経営上必要となる基礎知識及び研究開発, プロジェクト管理上必要となる基礎的事項について講義します。

また, 授業の目標は次のとおりです。

1. 財務会計, 企業経営など, 経営上必要となる基礎知識の修得。
2. 研究開発, プロジェクト管理など企業マネジメント上必要となる基礎的事項の修得。

◆授業の概要

1. 企業組織論の概要 (小畑: 2回) ……① 組織論の基礎知識, ② 技術系社員心得, ③ 企業とは (企業理念, 企業の考え方, 年間行事, CSR 他), ④ 企業の組織と職務内容 (本社研究所の概要, 生産技術研究所の概要 他), ⑤ 企業の人事 (採用, 配属, 研修, 評価 他), ⑥ 「日本のモノづくり」を背負っていく為に, を解説する。
2. アカウンティングの基礎 (坪岡, 西野, 朝本: 3回) ……財務会計 (アカウンティング) 基礎知識は, 企業経営やプロジェクトマネジメントの基本といえます。本講義では, 簿記の仕組みから B/S や P/L の基礎知識, また決算書に基づいた企業の財務分析のポイントを説明し, 財務会計の基礎を一通り身につけることを目標とします。
3. ファイナンスの基礎 (佐々木, 油木: 2回) ……企業経営においては, 経営管理やファイナンスの知識が不可欠です。本講義では, 企業経営全般についての考え方, もっともポピュラーな方法である金融機関借入を中心とした企業の資金調達の方法を説明し, ファイナンスの基礎を習得することを目標とします。
4. 講義の総括 (喜成: 1回) …… この講義を総括するとともに質問等へ回答する。
5. ファイナンスにおける企業審査のポイント (松宮: 1回) ……ファイナンスの基礎の発展として, 金融機関の融資担当者の立場から見た企業分析, 融資審査のポイントを説明します。

6. 生産システムの発展事例（臼田：2回）……主要産業における生産システムの歴史的な発展をグローバルな視点から学ぶ。具体的には、わが国の自動車産業と電気電子産業を対象とし、今後の方向も検討する。
7. 事業改革：その失敗と成功の要諦（鈴木：2回）……前半では、講師が体験した過去の失敗からその原因を学ぶ。そして、その失敗経験の正しい認識こそが次の成功へと結びつくことを理解して貰う。後半では、事業改革成功物語と改革成功のためのステップを解説する。そして最後に仕事を進める上での心構えを示します。
8. テクノロジマネジメント（中園：2回）……研究開発にはテクノロジマネジメントが必要である。テクノロジマネジメントの概論を示した後、副室式ガスエンジンの技術の概要と研究開発の実際を示して、実例の解説を行う。研究開発で行う仕事の内容の理解を深める。
9. 講義の総括（喜成：1回）……この講義を総括するとともに質問等へ回答する。

	学期	開講日	授業内容	担当講師
(1)	Q 1	4月12日(水)	企業組織論(1)	小畑 外嗣
(2)	Q 1	4月19日(水)	企業組織論(2)	小畑 外嗣
(3)	Q 1	4月26日(水)	アカウンティングの基礎(1)：簿記の基礎①	坪岡 久乃
(4)	Q 1	5月1日(月)*	アカウンティングの基礎(2)：簿記の基礎②	高田 彬
(5)	Q 1	5月10日(水)	アカウンティングの基礎(3)：企業会計の基礎	油木 弘玄
(6)	Q 1	5月17日(水)	ファイナンスの基礎(1)：企業経営の基礎	石黒 日菜
(7)	Q 1	5月24日(水)	ファイナンスの基礎(2)：企業の資金調達の基礎	村田 智洋
(8)	Q 1	5月31日(水)	講義の総括	喜成 年泰
(9)	Q 2	6月14日(水)	ファイナンスにおける企業審査のポイント	松宮 俊隆
(10)	Q 2	6月21日(水)	生産システムの発展事例(1)：自動車産業	臼田 松男
(11)	Q 2	6月28日(水)	生産システムの発展事例(2)：電気電子産業	臼田 松男
(12)	Q 2	7月5日(水)	事業化計画の事例(1)	鈴木 康夫
(13)	Q 2	7月12日(水)	事業化計画の事例(2)	鈴木 康夫
(14)	Q 2	7月19日(水)	テクノロジマネジメント (1)	中園 徹
(15)	Q 2	7月26日(水)	テクノロジマネジメント (2)	中園 徹
(16)	Q 2	8月2日(水)	講義の総括	喜成 年泰

*：講義回数調整のため月曜日ではあるが、全学的に水曜の講義日とする

◆**成績評価の方法**：講師毎にレポートで評価を受けることとなります(Webclass を用いて提出)。コーディネータは各講師の評価を総合して成績判定を行います。

◆**テキスト・参考書・教材等**：講義時に各講師が資料を配布します。

◆**コーディネータから受講生へのメッセージ**：MOTを学ぶための基礎科目です。技術経営の必須の知識及び研究開発やプロジェクト管理上必要となる基礎的事項を身に付けるための科目です。講師陣はそれぞれの分野のベテランです。

◆**講義方法**：講師毎にハイフレックス型(対面でオンライン配信を同時に行う授業)またはオンデマンド型(Webclass で講義資料を一定期間配信)となる可能性があります。講義前に Webclass を通じて連絡します。